

《共通基礎科目 教養教育科目》

科目名	生涯学習論				
担当者氏名	植原 和彦				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	1年・秋期

《授業の概要》

ユネスコにおける生涯教育の理念の登場その発展を歴史的に理解し、生涯学習社会の構築に寄与できるよう理解するとともに、専門的な知識を習得できるようにする。そのため、「生涯学習」の特性やその拠点となる生涯学習施設、利用する市民の視点を理解させ、その上で、親学習、高齢者、子ども、学校教育の課題を考え、自ら主催事業を企画・立案する力を培っていく。

《授業の到達目標》

生涯学習は、学校教育をも含んだ一生涯にわたる教育・学習である。社会変化のなかで、生涯学習の視点から「学ぶこと」の重要性がますます大きいものになっている。そこで、生涯学習の視点から生涯にわたって「学ぶこと」の意味を考え、さらには生涯学習をめぐる現状とその可能性を探ることを到達目的とする。

《成績評価の方法》

試験の成績（25%）授業内課題（30%）レポート（50%）

《テキスト》

資料は、授業中に配布する。

《参考図書》

参考文献については、適宜、指示をおこなう。

《授業時間外学習》

授業外学習としては、復習に重点をおき、第1回～10回については、講義終了後、考えをまとめレポートを提出する。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	この授業では	オリエンテーション
2	生涯学習とは	生涯学習とは（デュイ、ポールラングラン～現在にいたる生涯学習の考え方）
3	教育基本法から生涯学習を考える	生涯学習の重要性（法規から考えている）
4	生涯学習の実際	生涯学習の場と機会 公民館
5	生涯学習の実際	生涯学習の場と機会 図書館
6	生涯学習の実際	生涯学習の場と機会 スポーツ施設
7	生涯学習の実際	生涯学習の場と機会 郷土の文化
8	民間の活力の導入	生涯学習施設の運営の在り方について 指定管理者制度
9	社会教育、家庭教育の位置づけ	生涯学習の視点からの家庭教育と社会教育の連携
10	学校教育の位置づけ	生涯学習と子ども
11	演習	演習 高齢者対象事業の企画・立案
12	演習	演習 就学前教育での親子対象事業の企画・立案
13	演習	演習 小学生・中学生対象事業の企画・立案
14	具体的な実践例の提示	生涯学習の実際（具体的な実践例）
15	まとめ	課題解決のための研究とまとめ